

利 用 報 告 書

課 題 名	バイオコンピュータに関する基礎研究
	B a s i c S t u d y o n B i o - c o m p u t e r
利用者名	今泉 重夫 (社会学部・教授)

1。研究目的・内容

現在、広く利用されているノエマン型コンピュータは種々の問題があることがわかり、生体機能を積極的に取り入れたバイオコンピュータが最近開発されつつある。その基礎研究を行っている。

2。研究方法・計算方法

バイオコンピュータ用の素子を生体膜・人工膜より開発し、その特性を測る作業を行っている。そのための熱容量スペクトロスコーピー装置を開発中である。現在、デジタル制御により装置の動作を確認するためのシュミレーションを実施している。

3。研究成果

装置の制御と運転のためのソフトウェアの改良、そのバージョン・アップを行い、シュミレーションを続行中である。また、システム・ハードウェアの設計を行った。

4。発表

1. 今泉重夫 ” 奈良大学統合情報処理システム (N U I C E) の概要 (Ⅲ) ” 奈良大学情報処理センター年報 5 p 6 7 (1 9 9 4) 。
2. 講演発表
 - A. 横田浩、湊敏、今泉重夫 ” 奈良大学情報処理センターにおける情報教育システムの利用環境と諸問題 ” 第 8 回私情協大会資料 (東京) p 1 2 2 - 1 2 3 (1 9 9 4) 。
 - B. 今泉重夫、湊敏、横田浩 ” 文科系大学における情報利用環境 (Ⅱ) ” 平成 6 年度情報処理教育研究集会講演論文集 (文部省、九州大学主催) p 1 8 7 - 1 9 0 (1 9 9 4) 。